

発行:余市協会病院

発行日:令和3年3月1日

発行人:吉田 秀明

編集人:広報委員会

お問い合わせ:0135-23-3126

VOL.200 2・3月合併号

はつらつ Plus



発熱外来のお知らせ

当院では患者様が安心して診療を受けていただく為に一般の診療科とは別に「発熱外来」を設置しました。

発熱、咳、咽頭痛などの症状がある方は院内感染予防及び新型コロナウイルス感染防止の為に「発熱外来」に案内しております。

症状のある方は、電話予約の上受診していただきます。

【対象者】発熱症状、またはかぜ症状のある方。

【検査内容】ウイルスの検査をはじめ溶連菌などや血液検査や胸部のCT撮影などセットで検査をします。

※症状のある方なのでコロナウイルスの検査のみは行っておりません

【受付方法】電話で問診を行い受診時間の案内をしております。

【お問い合わせ】0135-23-3126(代表電話)

※代表電話につながりますので、発熱外来のこととお伝えください。



発熱外来前に手作りイルミネーションを設置しました。
大江電機様からのお力添えで素晴らしいものになりました。

イルミネーション設置しました

研修医リレーコラム 117

「便秘について」

便秘とは便を十分にかつ快適に出し切れない状態です。日本における全人口の約 14%が慢性便秘だと報告されており、高齢になるほど便秘を訴える人が多くなります。

1.便秘のタイプ

①機能性便秘

最も多いタイプです。生活習慣やストレス、加齢などの影響で腸の働きが乱れる結果生じます。

②器質性便秘

腹部手術後の癒着や炎症性疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)などにより、便の通過が妨げられることで生じます。

③症候性便秘

全身の病気(甲状腺機能異常、糖尿病、神経損傷など)の症状の一つとして生じます。

④薬剤性便秘

抗うつ薬、抗コリン薬(頻尿やパーキンソン病などで処方される薬)などは腸の働きを抑えるので、副作用として生じます。

2.治療

便秘の薬には様々な種類があり、便秘の原因や症状によって使い分けます。大きく分類すると便をやわらかくする薬(作用が穏やか)と大腸を刺激する薬(症状が強い時)があります。器質性便秘や症候性便秘は原因となる基礎疾患の治療を優先します。

3.危険な便秘

強い腹痛や吐き気、発熱などを伴う場合は直ちに医療機関を受診してください。腸閉塞や腸の穿孔など、すぐに治療が必要な場合があります。

4.便秘対策

- ・1日3食、特に朝食をきちんと食べましょう。
- ・食物繊維が多いもの(きのこ類、海藻、こんにゃくなど)を意識して食べましょう。
- ・ウォーキングやラジオ体操など適度な運動を行いましょう。

斗南病院 研修医 山下愛梨



毎年恒例の豆撒きの代わりに
いたしまして病院内に節分の飾
り付けを行いました。

節分飾り



救急件数

12月 外来受診 141件うち入院 45件 救急車来院 70件うち入院 38件
1月 外来受診 141件うち入院 44件 救急車来院 68件うち入院 39件